

《意見文》 四年生でやりたいこと

フレント 新小四

私は四年生で、いろいろやってみたくてあります。一ばんやってみたくては、漢字です。四年生の漢字の中で私の名前があります。巴奈です。習うのがとても楽しみです。四年生の漢字を習いはじめると楽しみです。



【評】四年生の一年間で、やりたいことが上手にまとめられました。自分の名前に使われている〇奈の「奈」を学習する日が待ち遠しいですね。

《意見文》 日本語「ほへの母語」

アクトン 旧小五

ぼくにどって、日本語は母語であり、世界で最もむずかしい言語の一つです。



日本語の何がむずかしいかというと、読むこと、書くことの両方です。また、日本語にはさまざまな表現の仕方もあり、それがさらに日本語をむずかしいにしていると思います。

まず、読み方がむずかしいと言った理由は、「一日」を「ついたち」と読むなどの独特な漢字の読み方のためです。ぼくは、こういった読み方は、日本人であっても混乱してしまうことがあると思います。次に、書くことがむずかしいと言った理由ですが、日本

語には、平仮名、カタカナ、さらに漢字があるからです。ぼくにどって、平仮名とカタカナは比かく的かんたんです。しかし、漢字は四、五年生になると、レベルも上がり、どんどんむずかしくなってきました。ぼくは、去年も今年も漢字を覚えることに苦戦しているのです。ぼくは、漢字は好きではありません。ですが、五世紀初めに日本に伝わった漢字を、二十一世紀に住んでいるぼくたちが今も使っているのはすごいことだと思います。

ぼくは、日本語を学ぶ人にとってもむずかしい日本語の言葉に「ヤバイ」があると思います。ぼくも、この表現の仕方を会話で使いますが、ヤバイは危険などの悪い意味で使われるのはもちろん、すごいなどのよい意味でも使われ、これらだけで会話が成立してしまいます。

ぼくにどって日本語は母語です。イギリスに住んでいるぼくにどって、日本語を学ぶのはかんたんなことではありません。ですが、ぼくは日本語をきちんと覚え、しっかりと使うことができる人になりたいです。

【評】イギリスに住んで実感する日本語の難しさ。しかしこの生活に深く組み込まれています。いろいろな角度から母語を分析することができました。

《詩歌》 くたもの

フレント 旧小五

いろいろなくたものがある
 いろいろちがつて
 それぞれおいしい
 みんなちがつて、みんなすばらしい
 人間もいろいろいる
 ちがいがあから
 おもしろい
 みんなそれぞれすばらしい

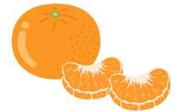


【評】違っからこそすばらしい。それは果物も人間も同じですね。

《詩歌》 みかん

クロイドン 旧小二

外はブツブツ
 てっぺんはおへそ
 かわをむくと
 中みはブツブツ
 ぼくのみかん
 あまいのがいいな



【評】とてもおいしそうなかんを想像できます。みかんはやはり甘いのがいいですね。

《生活文》 おとうさんの一日

アクトン 旧小三

わたしは、日三の〇〇の父です。ガレージのかんりをしています。

ある日の、私の生かつのようすを書いてみます。

朝、わたしのしごとは、ガレージのかぎをあけて、スタッフのために車をうごかすことからはじまります。その後、コンピューターをつけてメールをチェックします。スタッフにあいさつをして、しごとはあけます。

朝の休みじかんは、バナナを食べて、こうちやをのみながら、メールをチェックします。

お昼前に、車のしゅうりのお金をしらべたり、インボイスをつくったりします。

お昼すぎ、おきやくさんやほけんの会社に電話をしました。

夕方、スタッフにあいさつをして、アラームをつけてかぎをしめてかえります。

一日のおわりには、大きなテレビをみてリラックスします。

ねる前には、かならず電話でメッセージを見ます。これで、ようやく長い一日が終わりです。

【評】お父さんの一日を調べてみて、どう思いましたか。詳しく調べ、順を追って分かりやすく説明する文章が書けましたね。